

付録 2 アンケート票

アンケート票の内容を回答順番制御情報（質問の前に【】で質問条件を記述、省略されている場合無条件に質問提示）回答と共に以下に示す。

あなたご自身についてお伺いします。

SC1. あなたご自身は、お勤め先の組織（会社、団体、法人など）の規模、IT 利用状況（ハードウェアの導入台数、会社の IT に関する方針など）を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 把握している
2. まあ把握している
3. あまり把握していない
4. 把握していない
5. 仕事はしていない

SC2. あなたご自身は、お勤め先の働き方改革（長時間労働規制、テレワーク導入など）への取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 把握している
2. まあ把握している
3. あまり把握していない
4. 把握していない

SC3. あなたご自身は、お勤め先の DX（デジタル技術を利用した経営改革、新領域への進出など）への取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 把握している
2. まあ把握している
3. あまり把握していない
4. 把握していない

SC4. あなたご自身は、お勤め先における IT ハードウェア・ソフトウェア導入に関して、どう関与していますか。当てはまるものを一つお選びください。
以下から一つをお選び下さい。

1. 実質的な決定権を持っている
2. 実質的な決定権を、部分的に持っている
3. 決定権は持っていないが、選定や導入に関与している
4. 関与していない

SC5. あなたのお勤め先の従業員数（正規従業員数と非正規従業員（パート・アルバイトなど）の合計）は何人ですか。

※ お勤め先が、親会社のための情報処理を行う子会社の場合、親会社との合計人数をお答えください。

※ お勤め先が、持ち株会社の場合、連結対象の会社全体の合計人数をお答えください。

SC5_1 正規従業員数		人（半角数字のみ）
SC5_2 非正規従業員数		人（半角数字のみ）

SC6. お勤め先でのあなたの仕事、もしくは所属している部署はどこですか。最も近いものを一つお選びください。

1. 経営者・役員
2. 社業全般（社長室・経営企画など）
3. 総務系（経理・財務・法務・人事）
4. IT システム
5. 購買（購買・資財など）
6. 製造
7. 広報・調査・マーケティング
8. 営業・販売
9. 研究・開発

10. その他（具体的に： _____）

SC7.あなたのお勤め先の業種は何ですか。最も近いものを一つお選びください。

1. 農林・水産・鉱業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電力・ガス・水道業
5. 通信業（電気通信、放送など）
6. 情報サービス業（情報処理、映像・音声・文字情報制作など）
7. 運輸・倉庫業
8. 商業（卸売業、小売業）
9. 金融・保険業
10. 不動産業
11. サービス業（新聞、出版、映画、文教、病院、医療、社会福祉、保健衛生、廃棄物処理業など）
12. 教育・学習支援
13. 官公庁・自治体
14. その他（具体的に： _____）

お勤め先の組織（会社、団体、法人など）のプロフィールについてお伺いします

【SC1で1（把握している）～3（まあ把握している）と回答した方にお聞きします。4（把握していない）と回答した方は、Q1へお進みください。】

F1. あなたのお勤め先は資本系列上どの位置にありますか。最も近いものを一つお選びください。

※ 官公庁、自治体、外郭団体の場合独立系としてください。

1. 独立系
2. 企業の一般子会社
3. 特定の会社（企業グループ）向けの情報処理子会社
4. 持ち株会社

F2. あなたのお勤め先の所在地はどちらですか。当てはまるものを一つお選びください。

※ 複数の事業所がある場合は、ご自身がお勤めされている事業所ではなく、本社の所在地についてお答えください。

リストボックス：47都道府県+海外の48選択肢を表示

F3. あなたのお勤め先の年間売上（収入）はどのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

※ あなたご自身の収入ではなく、組織の売り上げや収入をお答えください。

※ 金融・保険業や会社以外の団体の方は年間の経常収益に当てはまるものを一つだけお選びください。

※ 持ち株会社の場合は、連結対象の企業全体について回答してください。

※ お勤め先が特定の会社（企業グループ）向けの情報処理子会社の場合、当該会社（企業グループ）全体について回答してください。

※ お勤め先が官公庁の場合は、「15.不明」を選択してください。

1. 100万円未満
2. 100万円以上、300万円未満
3. 300万円以上、1000万円未満
4. 1000万円以上、3000万円未満
5. 3,000万円以上、1億円未満
6. 1億円以上、3億円未満
7. 3億円以上、10億円未満
8. 10億円以上、30億円未満
9. 30億円以上、100億円未満
10. 100億円以上、300億円未満
11. 300億円以上、1000億円未満
12. 1000億円以上、3000億円未満
13. 3000億円以上、1兆円未満
14. 1兆円以上
15. 不明

お勤め先のITシステムについてお伺いします

F4. あなたのお勤め先でITシステムを担当している方は何人ですか。おおよそで構いませんので具体的な人数をお答

えください。

F4_1 専任担当者の人数		人 (半角数字のみ)
F4_2 兼任担当者の人数		人 (半角数字のみ)

F5. あなたのお勤め先が利用しているパソコンは何台ですか。おおよそで構いませんので、機種別、OS別に具体的な台数をお答えください。

※自社の顧客向けリース・レンタル用 PC は含めずにお答えください。

F5_1 デスクトップ PC

F5_1_1 Windows 11		台 (半角数字のみ)
F5_1_2 Windows 10		台 (半角数字のみ)
F5_1_3 Windows 8 / 8.1		台 (半角数字のみ)
F5_1_4 Windows 7		台 (半角数字のみ)
F5_1_5 他の Windows		台 (半角数字のみ)
F5_1_6 Mac OS		台 (半角数字のみ)
F5_1_7 Chrome OS		台 (半角数字のみ)
F5_1_8 その他 OS		台 (半角数字のみ)

F5_2 ノート PC

※キーボードを分離できるノート PC はタブレット端末に含めてください。

F5_2_1 Windows 11		台 (半角数字のみ)
F5_2_2 Windows 10		台 (半角数字のみ)
F5_2_3 Windows 8 / 8.1		台 (半角数字のみ)
F5_2_4 Windows 7		台 (半角数字のみ)
F5_2_5 他の Windows		台 (半角数字のみ)
F5_2_6 Mac OS		台 (半角数字のみ)
F5_2_7 Chrome OS		台 (半角数字のみ)
F5_2_8 その他 OS		台 (半角数字のみ)

F6. あなたのお勤め先が利用しているスマートフォンは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS別に具体的な台数をお答えください。

※自社の顧客向けリース・レンタル用スマートフォンは含めずにお答えください。

F6_1 iOS		台 (半角数字のみ)
F6_2 Android		台 (半角数字のみ)
F6_3 Windows		台 (半角数字のみ)
F6_4 その他 OS		台 (半角数字のみ)

F7. あなたのお勤め先が利用しているタブレット端末 (iPad、Surface など) は何台ですか。おおよそで構いませんので、OS別に具体的な台数をお答えください。

※自社の顧客向けリース・レンタル用端末は含めずにお答えください。

F7_1 iOS		台 (半角数字のみ)
F7_2 Android		台 (半角数字のみ)
F7_3 Windows		台 (半角数字のみ)
F7_4 Chrome OS		台 (半角数字のみ)
F7_5 Fire OS (Amazon)		台 (半角数字のみ)
F7_6 その他 OS		台 (半角数字のみ)

F8. あなたのお勤め先が利用している物理サーバーは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS別に具体的な台数をお答えください。

※仮想化ソフト (Hyper-V、VMware、everRun、RedHat 仮想化機能など) を使用して、1 台のサーバー上で複数の OS (ゲスト OS) を動作させている場合、ゲスト OS の総数をお答えください。

※自社の顧客向けリース・レンタル用サーバーは含めずにお答えください。

F8_1 Windows Server 2022		台 (半角数字のみ)
F8_2 Windows Server 2019		台 (半角数字のみ)
F8_3 Windows Server 2016		台 (半角数字のみ)

F8_4 Windows Server 2012		台 (半角数字のみ)
F8_5 他の Windows Server		台 (半角数字のみ)
F8_6 その他 OS (Linux など)		台 (半角数字のみ)

F9. あなたのお勤め先のランサムウェア (身代金要求型ウイルス) 対応の現在の状況はどのようになっていますか。

F9_1. あなたのお勤め先ではランサムウェアによる被害を受けた経験がありますか。当てはまるものを全てお選びください。

※ 本設問の回答は、統計的処理を行った全体集計のみに利用いたします。御社向けの位置づけ資料でも結果を開示いたしません。

1. 被害経験はない【排他】
2. 業務が停止した
3. 情報漏えいが発生した
4. 身代金を要求された
5. 身代金を支払った
6. その他 (具体的に: _____)

ランサムウェア: このウイルスに感染すると内部データが勝手に暗号化され読み取り不能になり、暗号化を解除するため、あるいは内部データを流出させないための身代金が要求される。

【F9_1 で 2 を選択した方にお聞きます。】

F9_2. あなたのお勤め先が受けたランサムウェアによる業務影響期間はどのくらいですか。最も大きな影響期間について、当てはまるものをお選びください。

1. ほとんど業務停止しなかった
2. 1 時間以内の業務停止があった
3. 1 日以内の業務停止があった
4. 数日の業務停止があった
5. 数週間の業務停止があった
6. 数か月以上の業務停止があった
7. その他 (具体的に: _____)

F9_3. あなたのお勤め先ではランサムウェアによる業務影響を防止するために、どんな対策をしていますか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 特別なランサムウェア対策はしていない【排他】
2. 次世代ウイルス対策ソフトウェアを導入している
3. BYOK (Bring Your Own Key) を導入している
4. DLP (Data Loss Prevention) を導入している
5. アクセス確認証を導入している
6. アクセス権 2 要素認証を導入している
7. アクセス IP アドレス制限を導入している
8. セキュアゲートウェイを導入している
9. UTM (統合脅威管理) を導入している
10. デバイスコントロールを導入している
11. その他 (具体的に: _____)

BYOK: クラウド事業者が用意した鍵ではなく利用組織独自の鍵を使ってデータを暗号化する
 DLP: 重要データを監視して、データのコピーや改変、持ち出しなどの不正行為を検知する
 セキュアゲートウェイ: 重要機器をまとめて、外部からの攻撃から守る「ネットの関所」となる
 UTM: ウイルス対策や VPN (仮想私設網) などさまざまなセキュリティー対策や機能を持つ
 デバイスコントロール: USB メモリーや CD、DVD ドライブなどの利用を制限する

F9_4. あなたのお勤め先ではランサムウェア感染の検出、および検出後の復旧対策をしていますか。当てはまるものを全てお選びください。

1. ランサムウェア感染からの検出や復旧対策はしていない【排他】
2. EDR (Endpoint Detection and Response) ・ SIEM (Security Information and Event Management) を導入している
3. オンライン媒体 (磁気ディスクなど) を使って定期的なバックアップをしている
4. オフライン媒体 (磁気テープなど) を使って定期的なバックアップをしている

- 5. バックアップからの復旧訓練をしている
- 6. バックアップからの復旧訓練を定期的に行っている
- 7. その他（具体的に： _____）

EDR：不審な通信やソフトウェアの不審な挙動を検知する
 SIEM：さまざまなセキュリティログを収集・分析する

F10. あなたのお勤め先が使われているクラウドサービス（含む、メール中継、Web ホスティング）停止への対応状況はどのようになっていますか。

F10_1.あなたのお勤め先ではクラウドサービスの停止による業務への影響を受けた経験がありますか。最も大きな影響について、当てはまるものをお選び下さい。

- 1. クラウドサービスを使っていない
- 2. 経験がない
- 3. 1時間以内の業務停止があった
- 4. 1日以内の業務停止があった
- 5. 数日の業務停止があった
- 6. 数週間の業務停止があった
- 7. 数か月以上の業務停止があった
- 8. その他（具体的に： _____）

【F10_1 で 1 以外を選択した方にお聞きします。】

F10_2.あなたのお勤め先ではクラウドサービスの停止による業務影響を防止するために、どんな対策をしていますか。当てはまるものを全てお選びください。

- 1. 特別な対策はなく、復旧を待つ【排他】
- 2. リージョン内でフェールオーバー（自動切換え）する
- 3. 国内の他リージョンとの間でフェールオーバーする
- 4. 他国のリージョンとの間でフェールオーバーする
- 5. マルチクラウドでフェールオーバーする
- 6. ハイブリッドクラウドでフェールオーバーする
- 7. 複数リージョンで同時処理しており、処理を継続する
- 8. その他（具体的に： _____）

リージョン：クラウドサービスの拠点の単位。リージョン間でシステムの分散運用やバックアップサイトを構成したりする。1つのリージョンが複数のゾーンから構成される

【F10_2 で 1（特別な対策はしていない）以外を選択した方にお聞きします。】

F10_3.あなたのお勤め先ではクラウドサービスが停止し、フェールオーバーする場合に備え、どんな復旧対策をしていますか。当てはまるものを全てお選びください。

- 1. バックアップ時点から業務をやり直す
- 2. チェックポイントから業務をやり直す
- 3. ジャーナルによる自動復旧を行う
- 4. 復旧後正常システムをもとに再同期する
- 5. 定期的なフェールオーバー訓練を行う
- 6. その他（具体的に： _____）

F11. あなたのお勤め先の IT システム化の現在の状況はどのようになっていますか。以下の業務系それぞれについて、当てはまるものを全てお選びください。

※ [DaaS を利用している]を選ぶ場合は、[システム化済み]のいずれかもお選びください。

	システム化済み（クラウド-SaaS 利用）	システム化済み（クラウド-PaaS 利用）	システム化済み（クラウド-IaaS 利用）	システム化済み（オンプレミス）	システム化済み（パソコン単体）	DaaS を利用している	システム化していない
F11_1 総務系業務（人事・労務・財務・会計・教育・広報・通信など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_2 法務系業務（契約・知財管理など）	1	2	3	4	5	6	7

F11_3 生産系業務（設計・開発・資材管理・在庫管理・生産管理・購買など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_4 営業系業務（営業・販売・顧客管理・在庫管理・購買など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_5 物流系業務（物流・在庫管理など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_6 業種固有業務（勘定系、医事会計、建築積算など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_7 システム構築・開発業務（プロジェクト管理など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_8 システム運用管理業務（監視、保守など）	1	2	3	4	5	6	7
F11_9 セキュリティ管理業務	1	2	3	4	5	6	7

SaaS (Software as a Service) : アプリケーション処理をインターネット経由で提供するサービス
 PaaS (Platform as a Service) : ハードウェア、OS、ミドルウェアなどのアプリケーション実行環境をインターネット経由で提供するサービス。アプリケーションは利用者が持ち込み、運用する
 IaaS (Infrastructure as a Service) : 仮想マシン（ハードウェア、仮想ソフト）をインターネット経由で提供するサービス。OSやミドルウェア、アプリケーションは利用者が持ち込み、運用する
 オンプレミス : ハードウェアやアプリケーションなどを、会社、事業所または部門単位で構築・設置し、自ら運用する
 DaaS (Desktop as a Service) : 仮想化されたパソコン処理（デスクトップ）をインターネット経由で提供するサービス。エンドユーザー側はシンクライアントとなり、データが残らない

F12. お勤め先の情報システムに対する新規投資額、運用コスト、クラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料についてお伺いします。

F12-1. お勤め先の情報システムに対する新規投資額は、年間売上（収入）（F3で回答したもの）の何%程度ですか。当てはまるものを一つお選びください。

※ ハードウェア・ソフトウェア購入費、システム開発費など一時的な投資金額

※ F3で回答した年間売上（収入）から算出してください

※ 括弧内は、お答えいただいた年間売上（収入）の範囲の中間値を基に自動計算されています。目安としてご覧ください。

1. 年間売上の0.03%未満
2. 年間売上の0.03%以上0.1%未満
3. 年間売上（収入）の0.1%以上0.3%未満
4. 年間売上（収入）の0.3%以上1.0%未満
5. 年間売上（収入）の1.0%以上3.0%未満
6. 年間売上（収入）の3.0%以上10.0%未満
7. 年間売上（収入）の10.0%以上30.0%未満
8. 年間売上の30%以上
9. 不明

F12-2. お勤め先の情報システムの運用コストは、年間売上（収入）（F3で回答したもの）の何%程度ですか。当てはまるものを一つお選びください。

※ ハードウェア・ソフトウェア使用料、運用外部委託費、運用社内人件費、施設使用料など継続的な費用

※ インターネットサービス、クラウドサービスの利用料は含めません。

※ F3で回答した年間売上（収入）から算出してください

※ 括弧内は、お答えいただいた年間売上（収入）の範囲の中間値を基に自動計算されています。目安としてご覧ください。

1. 年間売上の0.03%未満
2. 年間売上の0.03%以上0.1%未満
3. 年間売上（収入）の0.1%以上0.3%未満
4. 年間売上（収入）の0.3%以上1.0%未満
5. 年間売上（収入）の1.0%以上3.0%未満
6. 年間売上（収入）の3.0%以上10.0%未満
7. 年間売上（収入）の10.0%以上30.0%未満
8. 年間売上の30%以上
9. 不明

F12-3. お勤め先における、クラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料は、年間売

上（収入）（F3で回答したもの）の何%程度ですか。当てはまるものを一つお選びください。

※インターネットサービス、クラウドサービス利用料など継続的な費用

※ F3で回答した年間売上（収入）から算出してください

※括弧内は、お答えいただいた年間売上（収入）の範囲の中間値を基に自動計算されています。目安としてご覧ください。

1. 年間売上の0.03%未満
2. 年間売上の0.03%以上0.1%未満
3. 年間売上（収入）の0.1%以上0.3%未満
4. 年間売上（収入）の0.3%以上1.0%未満
5. 年間売上（収入）の1.0%以上3.0%未満
6. 年間売上（収入）の3.0%以上10.0%未満
7. 年間売上（収入）の10.0%以上30.0%未満
8. 年間売上の30%以上
9. 不明

働き方改革への取り組み状況についてお伺いします

【SC2で1（把握している）～3（まあ把握している）と回答した方にお聞きします。4（把握していない）と回答した方は、Q16へお進みください。】

Q1. あなたのお勤め先が働き方改革として取り組んでいることは何ですか。以下の取り組みのそれぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

※働き方改革の一環としての実施状況をお答えください。

	実施している	実施する予定がある	実施予定はない	実施状況が分からない
Q1_1 残業の抑制	1	2	3	4
Q1_2 有給休暇の取得率向上	1	2	3	4
Q1_3 勤務体系の多様化（フレックスタイム制など）	1	2	3	4
Q1_4 従業員の健康増進	1	2	3	4
Q1_5 賃金形態の見直し（同一労働同一賃金）	1	2	3	4
Q1_6 女性・若者が活躍できる労働環境の創出	1	2	3	4
Q1_7 高齢者の就労促進	1	2	3	4
Q1_8 ジョブリターン制度の導入	1	2	3	4
Q1_9 テレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス勤務など）制度の導入	1	2	3	4
Q1_10 業務プロセスの電子化（ハンコ文化からの脱却）	1	2	3	4
Q1_11 オフィスレイアウトの改善	1	2	3	4
Q1_12 人事評価制度の見直し（労働時間制から裁量労働制へ）	1	2	3	4

お勤め先で働き方改革を実施中、または実施予定の方にお伺いします

【Q1_1～Q1_12のいずれかで1（実施している）または2（実施する予定がある）と回答した方にお聞きします。該当するQ2の番号のみお答えください。】

Q2. あなたのお勤め先が働き方改革として取り組むきっかけは何ですか。以下の取り組みのそれぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

	働き方改革関連法	人手不足	コロナ禍	他社の動向	その他
Q2_1 残業の抑制	1	2	3		4
Q2_2 有給休暇の取得率向上	1	2	3		4
Q2_3 勤務体系の多様化（フレックスタイム制など）	1	2	3		4
Q2_4 従業員の健康増進	1	2	3		4
Q2_5 賃金形態の見直し（同一労働同一賃金）	1	2	3		4
Q2_6 女性・若者が活躍できる労働環境の創出	1	2	3		4
Q2_7 高齢者の就労促進	1	2	3		4
Q2_8 ジョブリターン制度の導入	1	2	3		4
Q2_9 テレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス勤務）	1	2	3		4

務など) 制度の導入				
Q2_10 業務プロセスの電子化 (ハンコ文化からの脱却)	1	2	3	4
Q2_11 オフィスレイアウトの改善	1	2	3	4
Q2_12 人事評価制度の見直し (労働時間制から裁量労働制へ)	1	2	3	4

【Q1_1～Q1_12 のいずれかで1 (実施している) または2 (実施する予定がある) と回答した方にお聞きします。該当する Q3 の番号のみお答えください。】

Q3. あなたのお勤め先が働き方改革に有効と考えていることは何ですか。以下の取り組みのそれぞれについて、有効と思うものを全てお選びください。

	IT 利用が有効	勤務体系の多様化が有効	法制度整備が有効	その他
Q3_1 残業の抑制	1	2	3	4
Q3_2 有給休暇の取得率向上	1	2	3	4
Q3_3 勤務体系の多様化 (フレックスタイム制など)	1	2	3	4
Q3_4 従業員の健康増進	1	2	3	4
Q3_5 賃金形態の見直し (同一労働同一賃金)	1	2	3	4
Q3_6 女性・若者が活躍できる労働環境の創出	1	2	3	4
Q3_7 高齢者の就労促進	1	2	3	4
Q3_8 ジョブリターン制度の導入	1	2	3	4
Q3_9 テレワーク (在宅勤務、サテライトオフィス勤務など) 制度の導入	1	2	3	4
Q3_10 業務プロセスの電子化 (ハンコ文化からの脱却)	1	2	3	4
Q3_11 オフィスレイアウトの改善	1	2	3	4
Q3_12 人事評価制度の見直し (労働時間制から裁量労働制へ)	1	2	3	4

【Q1_1～Q1_12 のいずれかで1 (実施している) または2 (実施する予定がある) と回答した方にお聞きします】

Q4. あなたのお勤め先では、働き方改革を実施する上で、課題となった、または課題となることがありますか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 改革への取組方針があいまい
2. 企業風土の改革が難しい
3. 設備投資や維持コストが大きい
4. 取引先の理解が得られない
5. 従業員が望んでいない
6. 経営層、管理職の理解が得られない
7. 従業員が IT を使いこなせない
8. 業務管理や人事評価が難しい
9. 推進担当人材の確保が難しい
10. その他 (具体的に:)

【Q1_1～Q1_12 のいずれかで1 (実施している) と回答した方にお聞きします。該当する Q2 の番号のみお答えください。】

Q5. コロナ禍が長期化している中で、あなたのお勤め先の働き方が、新型コロナウイルス感染症流行・緊急事態宣言発出 (2020 年) 時に比べてどう変化していますか。以下の取り組みのそれぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

	発出時より徹底した	発出時より徹底しつつある	変わらない	発出前に戻りつつある	発出前に戻った
Q5_1 残業の抑制	1	2	3		4
Q5_2 有給休暇の取得率向上	1	2	3		4
Q5_3 勤務体系の多様化 (フレックスタイム制など)	1	2	3		4
Q5_4 従業員の健康増進	1	2	3		4
Q5_5 賃金形態の見直し (同一労働同一賃金)	1	2	3		4

Q5_6 女性・若者が活躍できる労働環境の創出	1	2	3	4
Q5_7 高齢者の就労促進	1	2	3	4
Q5_8 ジョブリターン制度の導入	1	2	3	4
Q5_9 テレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス勤務など）制度の導入	1	2	3	4
Q5_10 業務プロセスの電子化（ハンコ文化からの脱却）	1	2	3	4
Q5_11 オフィスレイアウトの改善	1	2	3	4
Q5_12 人事評価制度の見直し（労働時間制から裁量労働制へ）	1	2	3	4

お勤め先でテレワーク制度を導入済みの方にお伺いします

【Q1_9で1（実施している）と回答した方にお聞きします】

Q6. あなたのお勤め先で、現在「テレワーク」制度はどの程度、導入されていますか。当てはまるものを一つだけ選んでください。

1. 全社で導入している
2. 特定の部署で導入している
3. 希望者のみ導入している
4. その他（具体的に： _____）

【Q5_9で4（発出時前に戻りつつある）または5（発出時前に戻った）と回答した方にお聞きします】

Q7. あなたのお勤め先は、どんな理由でテレワーク制度を縮小もしくは廃止するのですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. テレワーク導入後、業務実績が低下した
2. 企業風土に合わなかった
3. 設備投資や維持コストが大きかった
4. 取引先の理解が得られなかった
5. 従業員が望まなかった
6. 経営層、管理職の理解が得られなかった
7. 従業員がITを使いこなせなかった
8. 就業管理や人事評価が難しかった
9. コミュニケーションや人間関係が悪化した
10. セキュリティ上の不安が拭えなかった
11. その他（具体的に： _____）

お勤め先でテレワーク制度を導入予定の方にお伺いします

【Q1_9で2（実施する予定がある）と回答した方にお聞きします】

Q8. あなたのお勤め先がテレワーク制度を導入できていない理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. テレワークだと業務が滞る
2. 企業風土に合わない
3. 設備投資や維持コストが大きい
4. 取引先の理解が得られない
5. 従業員が望まない
6. 経営層、管理職の理解が得られない
7. 従業員がITを使いこなせない
8. 就業管理や人事評価が難しい
9. コミュニケーションや人間関係が悪化する
10. セキュリティ上の不安が拭えない
11. 推進人材の確保が難しい
12. その他（具体的に： _____）

お勤め先でテレワーク制度を導入している、または導入予定の方にお伺いします

【Q1_9で1（実施している）または2（実施する予定がある）と回答した方にお聞きします】

Q9. あなたのお勤め先で、テレワーク制度を導入した、または導入しようとしているきっかけは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. コロナにより出社が困難なため
2. 同業他社でテレワークを既に実施しているため
3. 政府からの補助金制度があるため
4. 移動時間（通勤・訪問時間）削減のため
5. コスト削減（通勤費やオフィス削減など）のため
6. 育児・出産・介護などでの離職を防ぐため
7. 企業イメージ向上（優秀な人材の確保・就職希望者を増やすなど）のため
8. 顧客との打ち合わせ機会の増加（時間や場所に捉われずに打ち合わせ可能など）のため
9. 効率的な社内打ち合わせ（会議室やスペースが不要、参加率が上がるなど）のため
10. デスクワーク・事務作業の効率化（ペーパーレス化の推進など）のため
11. コミュニケーション増加（チャット等での会話増加や他部門との交流増加など）のため
12. リモートでの業務進捗や管理を行うため
13. その他（具体的に： _____）

【Q1_9で1（実施している）または2（実施する予定がある）と回答した方にお聞きします】

Q10. あなたのお勤め先で、テレワーク制度の導入に必要な作業について、ITベンダーに期待した、あるいは期待している役割は何ですか。以下の作業項目のそれぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

	ITベンダー主体で実施	自社主体で実施し、ITベンダーが支援	ITベンダーの関与は行わない
Q10_1 情報収集	1	2	3
Q10_2 企画立案	1	2	3
Q10_3 サービス評価・選定	1	2	3
Q10_4 設計	1	2	3
Q10_5 構築・実装	1	2	3
Q10_6 運用ルール決め	1	2	3
Q10_7 運用維持	1	2	3

【Q1_9で1（実施している）または2（実施する予定がある）と回答した方にお聞きします】

Q11. あなたのお勤め先ではテレワーク制度導入のため追加した、または追加しようとしているセキュリティー対策は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 追加セキュリティー対策はない【排他】
2. クラウド型のウイルス対策ソフトウェア
3. 端末へのセキュアなリモートアクセスツール
4. クラウド型ゲートウェイ製品
5. セキュリティールール
6. その他（具体的に： _____）

お勤め先で「テレワーク」制度の導入予定がない方にお伺いします

【Q1_9で3（実施予定はない）と回答した方にお聞きします】

Q12. あなたのお勤め先がテレワーク制度を導入しない理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. テレワークだと業務が滞る
2. 企業風土に合わない
3. 設備投資や維持コストが大きい
4. 取引先の理解が得られない
5. 従業員が望まない
6. 経営層、管理職の理解が得られない
7. 従業員がITを使いこなせない
8. 就業管理や人事評価が難しい
9. コミュニケーションや人間関係が悪化する
10. セキュリティー上の不安が拭えない
11. 推進人材の確保が難しい
12. その他（具体的に： _____）

【Q1_9で3（実施予定はない）と回答した方にお聞きします】

Q13. あなたのお勤め先がテレワーク制度を導入する条件は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 自社にとってのメリットが明確に分かる

2. 導入のコストがかからない
3. 推進をサポートしてもらえる
4. 取引先・顧客の理解が得られる
5. 従業員の理解が得られる
6. 経営判断してもらえる
7. セキュリティーを担保できる
8. その他（具体的に： _____）

お勤め先で働き方改革を実施する予定がない方にお伺いします

【Q1_1～Q1_12で1（実施している）と2（実施する予定がある）を一つも選ばず、かつ3（実施予定はない）を一つ以上選択した方にお聞きします】

Q14. あなたのお勤め先が働き方改革を実施しない理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 現状の働き方に問題があるとは考えていない
2. 企業風土の改革が難しい
3. 設備投資や維持コストが大きい
4. 取引先の理解が得られない
5. 従業員が望んでいない
6. 経営層、管理職の理解が得られない
7. 従業員がITを使いこなせない
8. 業務管理や人事評価が難しい
9. 推進担当人材の確保が難しい
10. その他（具体的に： _____）

【Q1_1～Q1_12で1（実施している）と2（実施する予定がある）を一つも選ばず、かつ3（実施予定はない）を一つ以上選択した方にお聞きします】

Q15. あなたのお勤め先が働き方改革を実施する条件は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 自社にとってのメリットが明確に分かる
2. 導入のコストがかからない
3. 推進をサポートしてもらえる
4. 取引先や顧客の理解が得られる
5. 従業員の理解が得られる
6. 経営判断してもらえる
7. セキュリティーを担保できる
8. その他（具体的に： _____）

ここからはDXについてお伺いします。

【SC3で1（把握している）～3（まあ把握している）と回答した方にお聞きします。4（把握していない）と回答した方は、回答を終了してください。】

Q16. お勤め先のDXへの取り組み状況について、当てはまるものを一つだけお選び下さい。

1. 取り組んでいる
2. 取り組み予定である
3. 必要と考えているが、取り組めていない
4. 必要と考えていない

お勤め先が「DXに取り組んでいる」、または「DXに取り組む予定である」方にお伺いします。

【F3で15（不明）を選択せず、Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q17. あなたのお勤め先のDXへの投資額は、年間売上（収入）の何%程度ですか。当てはまるものを一つお選びください。

※ F3で回答した年間売上（収入）から算出してください

※ 括弧内は、お答えいただいた年間売上（収入）の範囲の中間値を基に自動計算されています。目安としてご覧ください。

1. 年間売上の0.03%未満
2. 年間売上の0.03%以上0.1%未満
3. 年間売上（収入）の0.1%以上0.3%未満

4. 年間売上（収入）の 0.3%以上 1.0%未満
5. 年間売上（収入）の 1.0%以上 3.0%未満
6. 年間売上（収入）の 3.0%以上 10.0%未満
7. 年間売上（収入）の 10.0%以上 30.0%未満
8. 年間売上の 30%以上
9. 不明

【Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q18. あなたのお勤め先での DX 推進体制はどうなっていますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 社長、会長、経営企画部門が主導
2. DX 推進専門部門が主導
3. 部門横断型プロジェクトチーム
4. IT システム部門が主導
5. 組織ごとに推進
6. 特別な推進体制はない
7. その他（具体的に： _____）

【Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q19. あなたのお勤め先では「DXに必要なスキル」をどのように確保していますか。以下のスキルそれぞれについて、当てはまるものを全て選んでください。

	既に社内 にあった	自社で育 成	新たに人 材採用	システム インテグ レーター などから 調達	不要【排 他】
Q19_1. ビジネスデザイン	1	2	3	4	5
Q19_2. プロジェクトマネジメント	1	2	3	4	5
Q19_3. アーキテクチャ設計	1	2	3	4	5
Q19_4. ソフトウェア（プログラミング）	1	2	3	4	5
Q19_5. AI エンジニアリング	1	2	3	4	5
Q19_6. 音声・画像・映像処理	1	2	3	4	5
Q19_7. 自然言語処理	1	2	3	4	5
Q19_8. データサイエンス（ビッグデータ解析、最適解・予想）	1	2	3	4	5
Q19_9. データセキュリティー	1	2	3	4	5
Q19_10. 自動運転	1	2	3	4	5
Q19_11. ドローン・ロボット	1	2	3	4	5

【Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q20. あなたのお勤め先が DX に取り組む目的は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める
2. 既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する
3. 既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する
4. 今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する
5. その他（具体的に： _____）

【Q20で1（既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める）と回答した方にお聞きします。】

Q21. あなたのお勤め先が、「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」ために具体的にやっている、または行おうとしていることは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 業務効率化
2. AI（人工知能）、ロボット、5G（第五世代移動通信規格）で無人化推進
3. 意思決定のプロセス変革
4. ワークスタイル変革（テレワークの導入など）
5. 労働人口不足への備え
6. 在庫最適化
7. グローバルコラボレーション
8. 需要予測の精度向上
9. 品質管理の高度化

10. SDGs（持続可能な開発目標）への貢献
11. デジタルツインで現場の全容把握
12. 総務、経理や人事などバックオフィスの IT 化
13. その他（具体的
に：)

【Q21 で 1（業務効率化）と回答した方にお聞きします。】

Q22. あなたのお勤め先が、「業務効率化」するために具体的に行っている、または行おうとしていることは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 情報の集約・共有・再利用
2. 属人化されているナレッジやノウハウの集約・共有・再利用
3. 全体コストの見える化
4. 全体プロセスの見える化
5. 品質の見える化
6. 組織・人材のダイバーシティ
7. その他（具体的
に：)

【Q20 で 2（既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する）と回答した方にお聞きします。】

Q23. あなたのお勤め先が、「既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する」ために具体的に行っている、または行おうとしていることは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 書籍、音楽、映像などのパッケージ販売ビジネスから配信ビジネスへの進出
2. AI（人工知能）や VR（仮想現実）、AR（拡張現実）を取り込んだ新製品・サービス
3. 学校、塾、教室、研修などの集客型サービスからオンラインサービスへの進出
4. 製品やサービスの一括課金からサブスクリプション（定額課金）へ
5. 親会社・子会社・関係会社をデータ連携させ、競争力のある新商品・サービスの実現
6. 部署間でデータ共有および分析をできるようにし、新商品やビジネスを創出
7. カスタマーエクスペリエンス（顧客価値体験）を基に、新商品・サービスの実現
8. その他（具体的に：)

【Q20 で 3（既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する）と回答した方にお聞きします。】

Q24. あなたのお勤め先が、「既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する」ために具体的に行っている、または行おうとしていることは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. B2B（企業間取引）型のデジタルマーケティング
2. AI（人工知能）や AR（拡張現実）を活用した商品提案
3. 店頭・店内販売からデリバリー販売への進出
4. 流通業者を通さずに、ネット経由で一人一人の顧客に最適な商品やサービスを提案
5. デジタルコンシューマーやカスタマーエクスペリエンスの取り込み
6. O2O（Online to Offline）やオムニチャネル
7. サプライチェーンのデジタル化
8. 小規模店向けキャッシュレスシステム
9. SFA（営業支援システム）や CRM（顧客情報管理システム）、MA（Marketing Automation）などを活用した顧客接点の変革
10. メタバース（仮想空間）で製品やサービスの体験機会提供
11. その他（具体的に：)

O2O（Online to Offline）：オンラインでの活動をオフラインでの活動に結びつける

オムニチャネル：実店舗とネット通販を融合させる

MA（Marketing Automation）：見込み客の情報を管理、選別し、見込み客のリストを営業部門へ渡すなど、マーケティング活動を自動化する

【Q20 で 4（今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する）と回答した方にお聞きします。】

Q25. お勤め先が、「今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する」ために具体的に行っている、または行おうとしていることで、当てはまるものを全てお選びください。

1. 社内に集積したビッグデータの商品化
2. 社内に集積した知財（ノウハウなど）の商品化
3. 位置情報や監視カメラを使った行動監視の事業化
4. ハンコに代わる公的電子認証の事業化

5. 物やサービスを利用する人と、提供者をつなぐプラットフォーム事業への進出
6. 社内で培った技術・設備を活かし、人工栽培・養殖・リサイクル事業などへ進出
7. スマートシティ・スマートグリッドへの参画
8. その他（具体的に： _____）

【Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q26. お勤め先がDXのために導入した、または導入しようとしているデジタル技術を全てお選びください。

1. AI（人工知能）
2. ビッグデータ解析
3. IoT（もののインターネット）
4. クラウド
5. スマホアプリ
6. ブロックチェーン（分散型台帳）
7. VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）
8. ドローン・ロボット
9. RPA（Robotic Process Automation）
10. ローコード（Low Code）・ノーコード（No Code）
11. モバイル・5G（第五世代移動通信規格）
12. その他（具体的に： _____）

RPA（Robotic Process Automation）：既存の業務システムを刷新することなく、それらを前提とした決まった手順（画面から画面へのコピーなど）の事務作業を自動化する
 ローコード（Low Code）・ノーコード（No Code）：専門知識のない非エンジニア系の人でもクリックやドラッグアンドドロップなどの操作でパーツやテンプレートなどを組み合わせ、Webサイトやアプリなどを開発できるようにする

【Q16で1（取り組んでいる）と回答した方にお聞きします。該当するQ20の番号のみお答えください。】

Q27. あなたのお勤め先がDXに取り組んだ成果はいかがですか。以下の取り組む目的それぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

	成果が出ている	今後の成果が見込まれる	成果が出ていない
Q27_1. 既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める	1	2	3
Q27_2. 既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する	1	2	3
Q27_3. 既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する	1	2	3
Q27_4. 今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する	1	2	3
Q27_5. その他	1	2	3

【Q16で1（取り組んでいる）または2（取り組み予定である）を選択した方にお聞きします】

Q28. あなたのお勤め先のDXへの取り組み、または取り組み予定はこの1年でどう変化していますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 特に変わっていない
2. 取り組み、取り組み予定が早まった
3. 取り組み、取り組み予定が遅くなった

【Q28で2（取り組み、取り組み予定が早まった）と回答した方にお聞きします】

Q29. あなたのお勤め先でDXへの取り組み、または取り組み予定がこの1年で早まった理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 経営陣の旗振りがあった
2. ユーザー部門からボトムアップでの盛り上がりがあった
3. ITシステム部門の旗振りがあった
4. ITベンダーからの提案があった
5. 新聞・メディアで必要性や成功事例が取り上げられるようになった
6. 働き方改革
7. DXレポート2発表による影響があった

8. コロナ禍で業務を変革する必要性が増した
9. 同業他社・競合先が取り組んでいる
10. 法令や制度への対応
11. その他（具体的に： _____）

【Q28で3（取り組み、取り組み予定が遅くなった）と回答した方にお聞きします】

Q30. お勤め先で「DXへの取り組み予定、または取り組み予定」がこの1年で遅くなった理由を一つだけ選択してください。

1. 会社として取り組むべきDXが定義できていない
2. 経営戦略にDX推進が盛り込まれていない
3. 会社の業績が悪化し、資金が不足
4. 推進する人物・部署がない
5. 投資対効果の面で経営者の理解が得られない
6. 企業文化の面で経営者の理解が得られない
7. 商習慣の面で顧客の理解が得られない
8. セキュリティー面で経営者の理解が得られない
9. 現状維持で十分との意見が多数
10. 相談できるパートナー、ITベンダーがない
11. 新型コロナウイルスのまん延
12. その他（具体的に： _____）

お勤め先が「DXは必要と考えているが、取り組めていない」方にお伺いします。

【Q16で3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q31. あなたのお勤め先がDXを推進する際の妨げは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. ブラックボックス化したレガシーシステム
2. レガシーシステムの技術者不足対策
3. 新しいアイデアを基に未来を描ける人材の確保
4. 初期投資費用の確保
5. ネットワーク容量・セキュリティ確保
6. レガシー組織との軋轢
7. ハンコ文化（紙の書類に押印しなければ正式な承認とみなさない文化）
8. その他（具体的に： _____）

【Q16で3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q32. あなたのお勤め先がDXを推進する際、妨げを取り去るために行った、または行おうとしていることは何ですか。当てはまるものを、全てお選びください。

1. レガシーシステムの刷新や廃棄
2. レガシーシステム要員のDX投入
3. オンプレミスからクラウドへの移行（要員をDXに投入、ネットワーク問題回避）
4. 所有からサブスクリプション利用へ移行
5. 社内業務の電子化促進
6. その他（具体的に： _____）

【Q16で3（必要と考えているが、取り組めていない）と回答した方にお聞きします】

Q33. あなたのお勤め先でDXを推進する際に、ITベンダーに期待することは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 会社、業務を理解した上での提案
2. 事例を含めた分かりやすい資料の提供
3. 費用対効果の明確な提案
4. 安心・安全な製品・サービスの提供
5. 製品・サービスの導入サポート・FAQ対応
6. システムの内製開発やPoC（概念実証）への協力
7. 自社の事業を理解し、ビジネスモデル変革を共に推進する
8. ITベンダーの体制強化、スキルアップ
9. ITベンダーに期待することはない【排他】
10. ITベンダーに何を相談すればよいのか分からない【排他】
11. その他（具体的に： _____）

お勤め先が「DXは必要ない」と考えている方にお伺いします。

【Q16で4（必要ない）と回答した方にお聞きします】

Q34.あなたのお勤め先が「DXは必要ない」と考える理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 検討する時間がない
2. 資金に余裕がない
3. 費用対効果が不明である
4. DXについてほとんど知識がない
5. DX検討にあたり支援先がない
6. 現状で不満がない
7. 分からない
8. その他（具体的に： _____)

お勤め先が「DXは必要と考えているが、取り組めていない」、または「DXは必要ない」と考えている方にお伺いします。

【Q16で3（必要と考えているが、取り組めていない）、4（必要と考えていない）と回答した方にお聞きします】

Q35.あなたのお勤め先が興味を持っているデジタル技術は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. AI（人工知能）
2. ビッグデータ解析
3. IoT（もののインターネット）
4. クラウド
5. スマホアプリ
6. ブロックチェーン（分散型台帳）
7. VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）
8. ドローン・ロボット
9. RPA（Robotic Process Automation）
10. ローコード（Low Code）・ノーコード（No Code）
11. モバイル・5G（第五世代移動通信規格）
12. その他（具体的に： _____)